

OECM を通じた 企業の生物多様性保全活動

2023 年 1 月 25 日 (水) 13:30 ~ 16:30

オンライン開催

参加
無料

2022 年 12 月に開催された生物多様性条約の締約国会議において、
「2030 年までに陸と海の 30% 以上を保全する」という世界目標（30 by 30 目標）が
決定されました。

この 30 by 30 目標の達成に向けた重要な手段が OECM（オーイーシーエム）です。

OECM とは、法律などにより保護地域に指定されてない場所で、企業や NGO 等の取組により
生物多様性保全に貢献している場所（企業緑地、里地里山、都市緑地など）を指します。

環境省では、OECM の推進に向けて、企業等の取組により生物多様性の保全が図られている場所を
認定する仕組み（自然共生サイト（仮称））の構築を進めています。

このフォーラムでは、今後、中部地域で OECM を増やしていく方策を検討するため、
OECM に取り組む意義やメリットなどについて深堀します。

プログラムは裏面をご覧ください

申込方法

ZOOM 参加は定員に達しましたので、YouTube ライブ配信による視聴参加を募集しています。

- 参加申込フォーム <https://forms.gle/W5W5YCL7jJ7MZuB46>
開催日の前日、申込登録したメールへ YouTube の視聴 URL をお送りします。
EPO 中部ウェブサイト (<https://www.epo-chubu.jp>) からでも申込できます。 EPO 中部 検索
- メールで申込の場合 宛先: info@epo-chubu.jp
①氏名（ふりがな）、②連絡先（メールアドレスか電話番号）、③ご所属先を記載のうえ、
件名「0125 フォーラム」で 1 月 20 日までに送信願います。



30 by 30 及び OECM にご関心のある方は、どなたでもお気軽にご参加いただけます。
特に、生物多様性保全の取組を展開している、またはご関心のある企業、活動団体、自治体のみなさまの
ご参加をお待ちしております。

参考

環境省ウェブサイト「生物多様性のための 30by30 アライアンス」
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance>



..... プログラム

1. 開 会

ご挨拶：環境省中部地方環境事務所

2. 企業による生物多様性保全

❶「OECM と自然共生サイト（仮称）について」 環境省自然環境局自然環境計画課

❷「世界目標と企業の生物多様性保全」

渡辺 綱男 氏（国連大学サステイナビリティ高等研究所シニアプログラムコーディネーター）

3. 自然共生サイト（仮称）試行認定の経験共有

❶「森の維持管理と自然共生サイトへの取組」

谷岡 修 氏（ソニーグローバルマニュファクチャリング & オペレーションズ株式会社人事総務部門
総務・ファシリティ部）

❷「希少生物が生息・生育するシャトー・メルシャンの^{まりこ} 梔子ヴィンヤード（長野県上田市）」

小此木 陽子 氏（麒麟ホールディングス株式会社 CSV 戦略部）

❸^{ははそ}「柞の森（石川県珠洲市）における茶道用木炭生産を通じた里山の保全」

大野 長一郎 氏（株式会社ノトハハソ代表取締役）

4. OECM に向けた多様な主体の連携

❶「自然共生を目指した企業連携」

北本 都美 氏（環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）自然共生分科会事務局
東邦ガス株式会社 CSR 環境部部長付）

❷「市民・専門家と連携した調査・保全活動」

長谷川 泰洋 氏（なごや生物多様性保全活動協議会会長）

5. 質疑応答と登壇者によるトークセッション

6. 閉 会

.....